

●一斉学習 ■児童生徒実践型

実践タイトル 実物投影機を用いて手を洗うことに関心を持たせる

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

実物投影機

・手元に注目することが難しい生徒が、注目することができるようにする。

実物

・自分の手が拡大されることで、注目することができるようにする。

参考にしてほしいポイント

- ・注視することが難しい生徒たちに興味関心を持たせ、授業に参加させるために、導入の紙芝居からプロジェクターを使用したり、必要な場面で大画面に映し出したりしているところ。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習が「手の汚れについて考えること」であることを知る。</li> <li>・手洗いをしなかったために病気になった子どもの紙芝居を見て、手にばい菌が付いていることと、そのばい菌が体に悪いことをすることを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物投影機</li> <li>・プロジェクター(写真1)</li> </ul>
展開 10 40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いチェッカーを使用する。付属のローションをつけると白く光ることを確認する。</li> <li>・支援を行わず手洗いをを行い、手洗いチェッカーを使い洗い残しがあることを確認する。</li> <li>・教師の手本に合わせて、丁寧な洗い方を知る。</li> <li>・手洗いチェッカーで確認し、丁寧に洗うと白く光らなくなることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いチェッカー、生徒の手(写真2)</li> <li>・実物投影機</li> <li>・プロジェクター</li> <li>・教師の手</li> </ul>
まとめ 40 50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物投影機で自分の手の動きを映して、洗い方をみんなで確認する。</li> <li>・6枚のポーズの写真を示し、汚れの残りやすい部分と洗い方の確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物投影機</li> <li>・生徒の手(写真3)</li> <li>・6枚のポーズの写真</li> </ul>



写真1: 紙芝居を実物投影機とプロジェクターを使い、大きく提示



写真2: 手洗いチェッカーを使用している様子を実物投影機とプロジェクターで大きく提示



写真3: 丁寧な手洗いの様子をみんなで確認

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・大きな画面に映し出されることで、全員が興味を持ち授業に参加することができた。
- ・手洗いチェッカーを使用している場面を大きく映し出すことで、自分の手の様子に注目することができた。

活用効果

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動や健康・安全への関心・意欲・態度</li> <li>・健康・安全についての知識・理解</li> </ul>	具体的変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画面を注視することができ、授業に積極的に参加することができた。</li> <li>・手には、ばい菌が付いていることを知り、丁寧な洗い方を知ることができた。</li> </ul>
-------	---	-------	--

実践の手応え

- ・生徒は、自分の手が大きく映し出されることに興味を持ち、授業に積極的に参加することができた。また、手洗いの仕方を見せるといことで、他の生徒を意識して授業に取り組むことができていた。